



第2回まちづくり交付金評価委員会

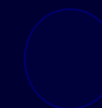
宇都宮都市拠点地区の事後評価について

平成25年11月29日

総合政策部 地域政策室

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA





(1) 地区のまちづくりの経緯について

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



地区のまちづくりの経緯について



【当初計画（平成22年3月）】

事業	事業名	内容
道路	都心部道路景観整備事業(市道2号線)	L=140m
	都心部道路景観整備事業(市道3号線)	L=380m
	おもてなし休憩施設設置事業	L=500m
地域生活基盤施設	地域防災施設(中央生涯学習センター)	3,500㎡
	情報板(オリオン市民広場)	1基
土地区画整理事業	緊急防災空地整備事業(小幡・清住地区)	1,000㎡
住宅市街地総合整備事業	密集住宅市街地整備型(小幡・清住地区)	5戸
地域創造支援事業	中心市街地出店等促進事業	
	魅力ある商店街等支援事業	
	中心商店街景観整備支援事業	
	魅力ある景観づくり事業	
	都心部居住推進事業	
	総合情報板設置事業	3基

住めば
愉快だ
宇都宮



地区のまちづくりの経緯について



【 第1回計画変更（平成22年10月）】

・ 事業の追加

事業	事業名	内容

・ 事業費の精査

事業	事業名	内容
地域生活基盤施設	情報板(オリオン市民広場)	事業費 0.9億円増額
土地区画整理事業	緊急防災空地整備事業(小幡・清住地区)	事業費 4.5億円増額
住宅市街地総合整備事業	密集住宅市街地整備型(小幡・清住地区)	事業費 8.6億円増額

・ 事業期間等の変更：計画期間内における事業の実施年度変更 等



地区のまちづくりの経緯について



【 第2回計画変更（平成23年4月）】

・ 区域の変更

256 ha ⇒ 327 ha

・ 事業の追加

事業	事業名	内容
地域創造支援事業	空き店舗活用事業	

・ 事業費の精査

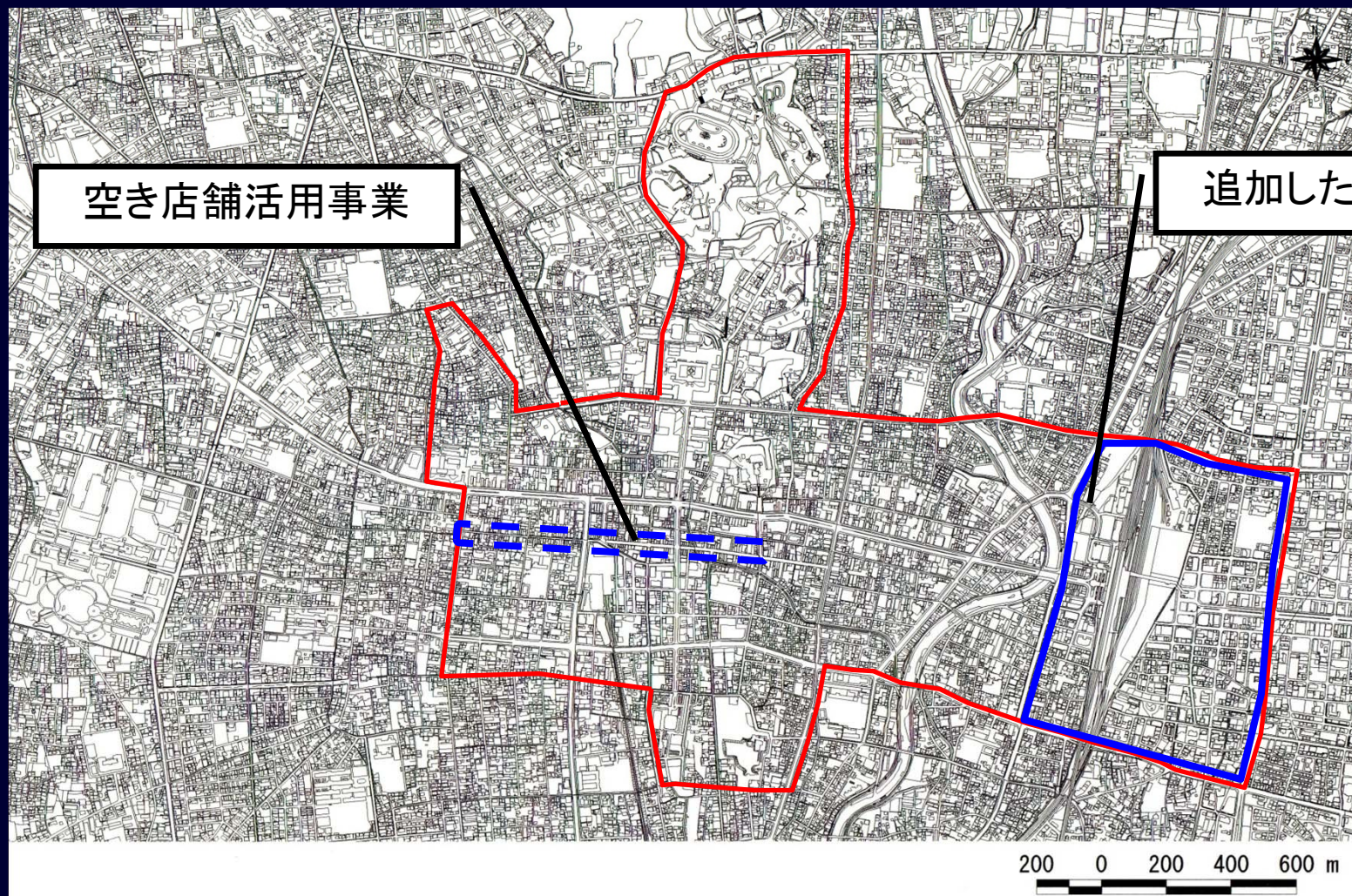
事業	事業名	内容
地域創造支援事業	都心部居住促進事業	事業費 1.64億円増額
地域創造支援事業	空き店舗活用事業	事業費 0.27億円追加

・ 事業期間等の変更：計画期間内における事業の実施年度変更 等

住めば
愉快だ
宇都宮



第2回変更 追加事業



住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



地区のまちづくりの経緯について



【第3回計画変更（平成23年3月）】

・事業の削除

事業	事業名	内容
道路	おもてなし休憩施設設置事業	L=500m
地域創造支援事業	中心商店街景観整備支援事業	
	魅力ある景観づくり事業	

・事業費の精査

事業	事業名	内容
道路	都心部道路景観整備事業(市道2号線)	0.365億円に減額
	都心部道路景観整備事業(市道3号線)	0.67億円に減額
地域生活基盤施設	地域防災施設(中央生涯学習センター)	0.657億円に減額
	情報板(オリオン市民広場)	1.365億円に減額
土地区画整理事業	緊急防災空地整備事業(小幡・清住地区)	2.88億円に減額
住宅市街地総合整備事業	密集住宅市街地整備型	6.65億円に減額
地域創造支援事業	中心市街地出店等促進事業	1.306億円に減額
	魅力ある商店街等支援事業	0.074億円に減額
	空き店舗活用事業	0.29億円に増額
	都心部居住推進事業	2.755億円に減額
	総合情報板設置事業	0.091億円に減額

住めば
愉快だ
宇都宮

・事業期間等の変更：計画期間内における事業の実施年度変更 等



(2) 事後評価について



住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



①方法書について

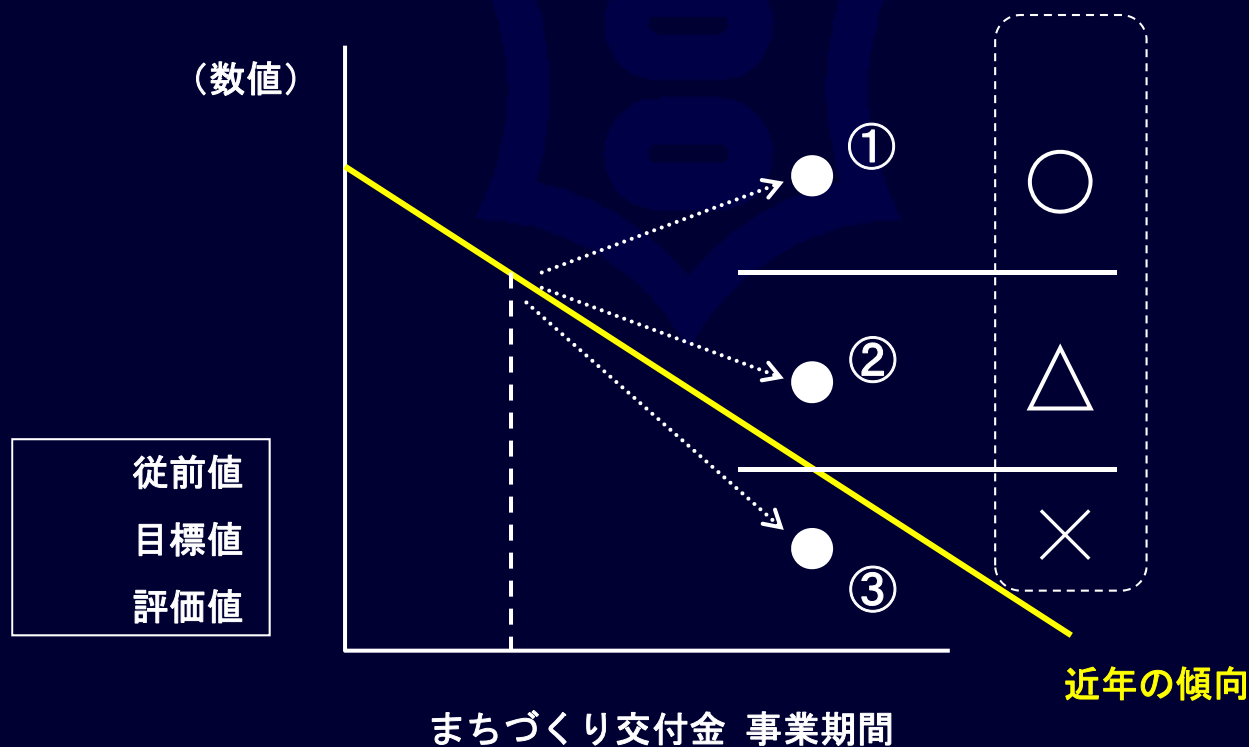


方法書とは…

事後評価の実施にあたり、『成果の評価』『実施過程の評価』等について、
時期・作業内容・方法をあらかじめ設定し、
事後評価を円滑に進めるための『評価の実施計画書』。

②成果の評価について

評価の基準	達成度
①評価値が目標値を上回った場合	○
②評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合	△
③評価値が目標値には達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合	×



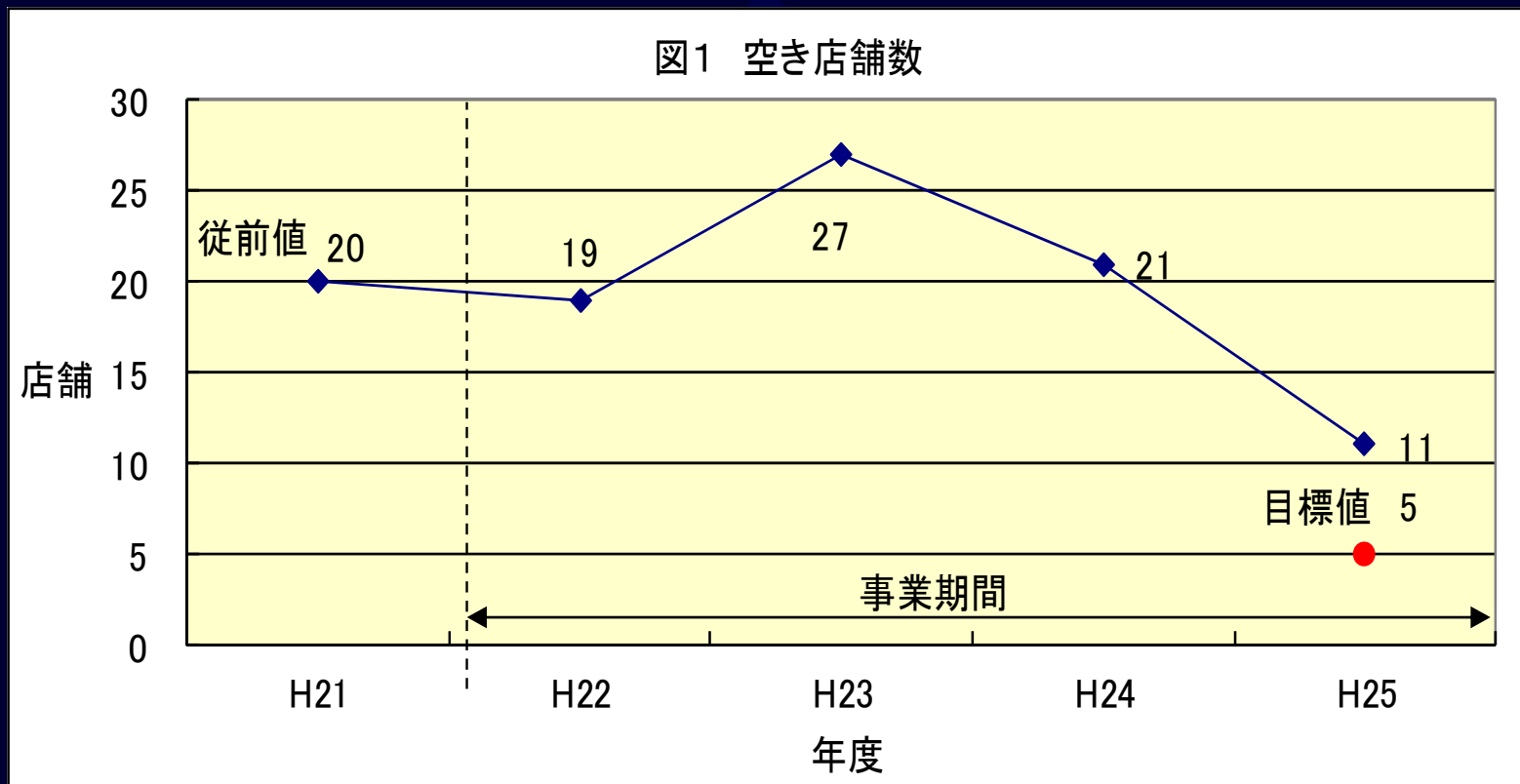


②成果の評価及び③効果発現要因について



【指標 1 : 空き店舗数】

指標	単位	従前値 (H21)	目標値 (H25)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
空き店舗数	店舗	20	5	11	△	あり



住めば
愉快だ
宇都宮



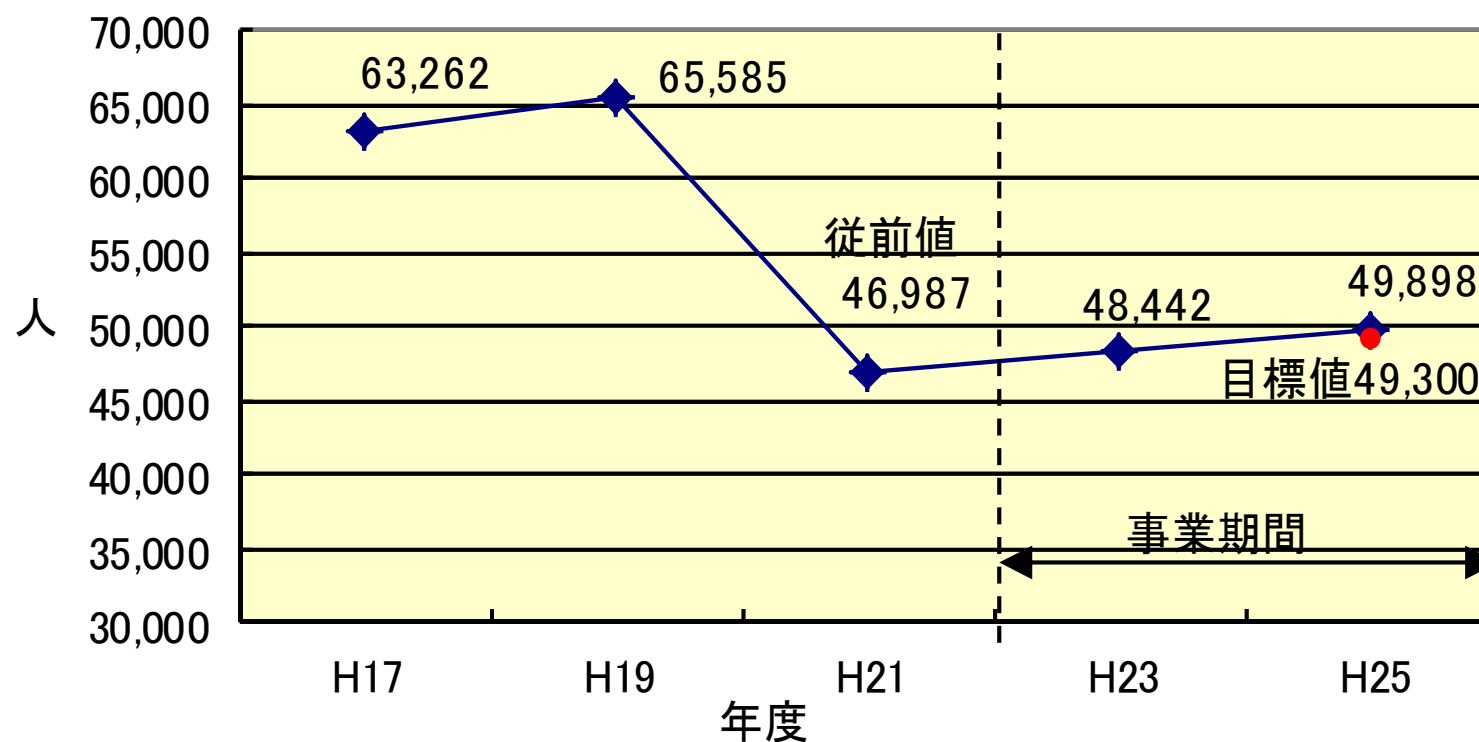
②成果の評価及び③効果発現要因について



【指標2：歩行者・自転車通行量】

指標	単位	従前値 (H21)	目標値 (H25)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
歩行者・自転車通行量	人	46,987	49,300	49,898	○	あり

図2 歩行者・自転車通行量



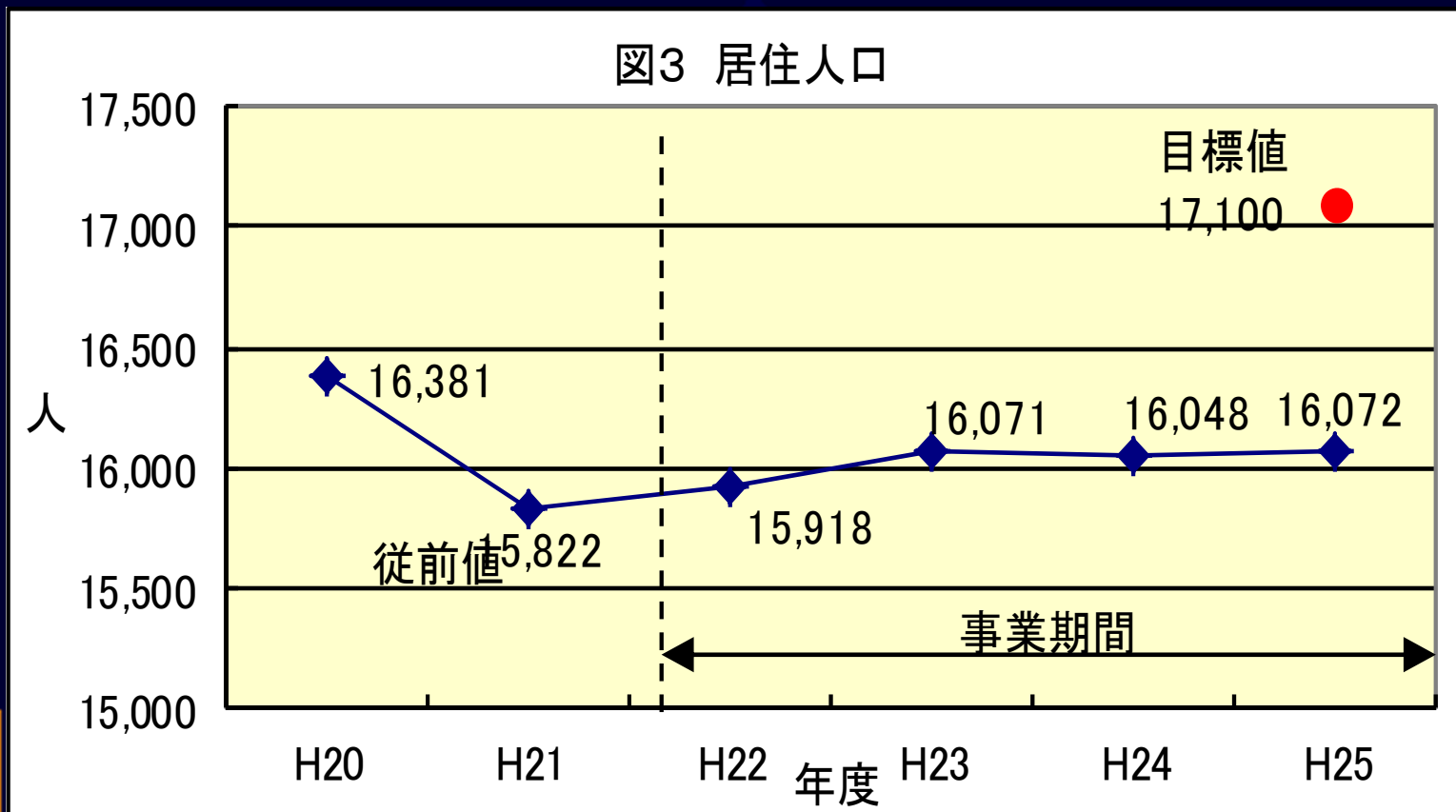


①成果の評価及び②効果発現要因について



【指標3：居住人口(夜間人口)】

指標	単位	従前値 (H21)	目標値 (H25)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
居住人口	人	15,822	17,100	16,072	△	あり



住めば
愉快だ
宇都宮



①成果の評価及び②効果発現要因について



【定性的な効果発現状況】

学生による空き店舗活用事業により・・・

- ・地域と学生の交流が更に図られる
- ・地域のまちづくりに対しての意識が高まる



ワークショップなどまちづくり活動が
行われている。



①成果の評価及び②効果発現要因について



【定性的な効果発現状況】

中心商業地出店等促進事業により・・・

- ・出店したオーナーが地元商店街に入る



商店街で行うイベントなど新たな賑わい創出に向けた取組が実施されている。

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



④実施過程の評価について



□モニタリング

実施していない

□住民参加プロセス

- ・ 中心市街地活性化協議会
- ・ みちづくり勉強会（市道3号線：ユニオン通り）
- ・ 小幡，清住地区まちづくり協議会

□持続的なまちづくり体制の構築

- ・ 中心市街地活性化協議会
- ・ 大通り景観づくり推進協議会



(3) 今後のまちづくりについて



住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



今後のまちづくり方策について



【まちの課題の変化】

- ・ 魅力ある商店街等支援事業や中心商業地出店等促進事業などにより商店街の魅力が向上したことや、オリオン市民広場への大型映像装置を設置したことによりイベント数が増加したことなどから、歩行者・自転車通行量が増加した。
- ・ 大型映像装置を設置したことにより、商店街などが行う多種多様なイベントが増加し、賑わいを創出した。
- ・ 都心居住促進事業や市街地再開発事業等により、居住人口の減少に歯止めがかかりつつある。



今後のまちづくり方策について



- ・ 関連事業を継続的に実施することで、歩行者・自転車通行量の増加を継続させていく。
- ・ 市民ニーズに対応した居住促進事業を更に進めていく。
- ・ みちづくり勉強会や大通り景観づくり推進協議会など様々な立場からの意向を把握しながら、事業を進める必要がある。
- ・ 誰もが安心して快適に暮らせる、都市環境を形成する。
- ・ 都市拠点として、広域的な交流や面的な賑わいを創出する。
- ・ 本市の中枢性や存在感の向上に資するため、広域的な交流や賑わいを創出する商業、文化・芸術、教育などの高次な都市機能を集積する。